

平成29年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海洋生物学実習 III 「海産無脊椎動物の発生機構」		
実習内容	<p>海産無脊椎動物の発生機構に関する 2 コース (A, B、別日程) を開講する。1 コースの受講を基本とするが、2 コースの受講も可能。ただし単位は 1 コース受講でも 2 コース受講でも 2 単位である。なお、3 月開講のため、単位認定の連絡は翌年度 4 月以降に行う。そのため学部 4 年生には成績を付与することはできないが、参加は認める。</p> <p>A コース：棘皮動物ウニの発生機構 (担当：美濃川 拓哉)</p> <p>本コースのテーマは「間接発生」機構である。間接発生とは幼生と成体の二つの相をもつ発生様式であり、多細胞動物の初期進化を理解するうえで重要な鍵の一つであると考えられている、本コースでは顕微操作、細胞標識、遺伝子発現解析等の実験を通してウニの間接発生機構の概要の理解を目指す。さらに様々な動物の幼生観察から間接発生様式の多様性と共通性を学習する。また、多細胞動物の初期進化研究との関連についても解説する。</p> <p>B コース：脊索動物ホヤ胚の発生機構 (担当：熊野 岳、中本 章貴)</p> <p>本コースでは、海産無脊椎動物の発生研究で特に研究の進んでいる脊索動物ホヤを用いて、胚発生過程における発生運命決定機構を理解することを目的とする。マホヤ発生研究の現場で駆使されている実験技術を習得し、その技術を使って様々な実験、解析を行い、発生運命決定の仕組みの巧妙さを体感する。</p>		
実習内容キーワード	ウニ、棘皮動物、ホヤ、脊索動物、間接発生、胚発生、発生運命決定機構		
担当教員氏名・所属・役職名	熊野 岳・東北大学生命科学研究科・教授 美濃川 拓哉・東北大学生命科学研究科・准教授 中本 章貴・東北大学生命科学研究科・助教		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部 2~4 年生	開講期間	平成 30 年 3 月中旬から下旬
開講大学・施設名	東北大学・浅虫海洋生物学教育研究センター		
施設の住所	〒039-3501 青森市浅虫字坂本 9 番地		
電話	017-752-3338	F a x	017-752-2765
e-mail	asamushi@grp.tohoku.ac.jp	Web Site	http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/
交通案内	「東北新幹線」新青森駅から「JR 奥羽本線」で青森駅へ、「青い森鉄道」に乗り換え (所要時間 25 分)、浅虫温泉駅下車、浅虫温泉駅から徒歩 20 分 (約 2km)		
費用	1 日 2,000 円程度 (昼食・夕食を含む)		
授業科目名	海洋生物学実習 III		
単位数	2	定員数	2 コース合計 10 名程度
授業料の徴収について	徴収しません		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	人数超過の場合、高学年の学生を優先します。募集は 2017 年 12 月中旬から 2018 年 1 月中旬に、各大学の教務係を通じて行うので、各大学の教務掲示板に注意してください。		
選抜結果連絡法	電子メールにより本人に直接通知します		